

作成・発行：令和6年7月5日

エコアクション21 環境経営レポート 《令和5年度》

取組期間：令和5年1月1日～令和5年12月31日



まちをつくる
住まいをつくる
 株式会社 齋藤工務店

<https://www.saitou-co.com/>

株式会社 齋藤工務店

代表取締役 齋藤 兼司

〒421-0201 静岡県焼津市上小杉977番地

TEL：054-622-0235 FAX：054-622-0454

E-mail：saitoukoumuten@ai.tnc.ne.jp

目 次

1. 事業活動の概要
2. 実施体制
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標とその実績
5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反・訴訟等の有無
7. 代表者による全体評価と見直し・指示



1. 事業活動の概要

① 事業 者 名 株式会社 斎藤工務店

② 代 表 者 名 代表取締役 斎藤 兼司

③ 所 在 地 事業所：〒421-0201 静岡県焼津市上小杉977番地
その他：資材倉庫 3ヵ所、資材置場 2ヵ所、駐車場 1ヵ所

④ 事 業 内 容

総合建設業（特定建設業・一般建設業）

許 可 番 号	許可を受けた建設業	許可年月日	有効年月日
静岡県知事許可(特-4)第4173号	土 木 工 事 業	令和4年7月29日	令和9年7月28日
	建 築 工 事 業		
	とび・土工工事業		
	鋼構造物工事業		
	舗 装 工 事 業		
	水道施設工事業		
静岡県知事許可(特-4)第4173号	解 体 工 事 業	令和4年8月26日	令和9年8月25日
	大 工 工 事 業	令和4年10月27日	令和9年10月26日
	しゅんせつ工事業		
静岡県知事許可(般-4)第4173号	造 園 工 事 業	令和4年7月29日	令和9年7月28日

不動産業

宅地建物取引業者	免許証番号	許可年月日	有効年月日
	静岡県知事(4)第12876号	令和4年12月3日	令和9年12月3日

⑤ 環境管理責任者 斎 藤 兼 司

⑥ 連 絡 先 窓口担当者（環境事務局） 斎 藤 初 美
TEL：054-622-0235
FAX：054-622-0454
E-mail：saitoukoumuten@ai.tnc.ne.jp
URL：https://www.saitou-co.com/

⑦ 事 業 の 規 模

設立年月日(法人)	昭和 40 年 5 月	
資 本 金	2,000 万円	
売 上 高	60,990 万円	(令和5年度)
従 業 員 数	14 名	(令和5年度)
床 面 積	794 m ²	(令和5年度)

⑧ 廃棄物に関する情報公開項目

1) 許可の内容

許 可	許 可 番 号	許可年月日	有効年月日
産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業	静岡県知事許可 第2201132599号	令和4年1月11日	令和9年1月10日

2) 事業の範囲

事 業 の 区 分	収集運搬（積替え及び保管行為を除く）
産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず 以上 6 品目

3) 施設等の状況

運搬車両種類 (登録台数:3台)	機 種	型式、寸法	自動車登録番号	載荷量
	三菱	ダンプ 2t車	静岡400 め 11-58	2000kg
	トヨタ	ダンプ 3t車	静岡400 て 49-03	3000kg
	いすず	キャブオーバー 4t車	静岡100 す 54-08	2450kg

※積み替え保管なし

4) 受託実績と自社運搬実績（令和5年度）

廃 棄 物 の 種 類	受託量(t)	自社運搬量(t)
コンクリートがら	0	132.55
ア ス コ ン が ら	0	104.08
木 く ず	0	4.19

※産業廃棄物受託実績は自社運搬のみで受託実績はありませんので、認証登録範囲外です

⑨ 対象範囲

- ・ 事業活動
 - 土木、建築の設計、施工管理業務
 - 不動産業
- ・ 対象事業所
 - 本社、資材倉庫 3ヵ所、資材置場 2ヵ所、駐車場 1ヵ所

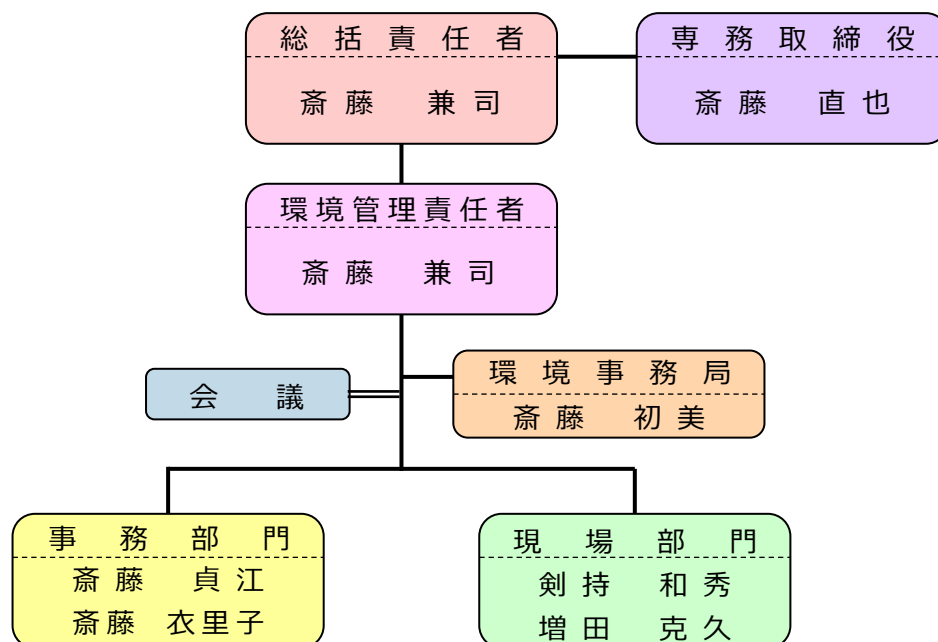
2. 実施体制

(平成19年8月1日から運用)

(改定2：令和4年2月1日)

環境経営目標に向けての活動は下記組織にて行い、全体的活動として取り組みます。

【実施体制図】



< 連絡先 > 静岡県焼津市上小杉977番地
TEL (054) 622 - 0235
FAX (054) 622 - 0454

< 総括責任者 > 環境経営システムの最高責任者
・環境経営方針を策定
・環境管理責任者を指名する
・資源（人材、資金、技術）の用意
・システムの評価と見直し

< 環境管理責任者 > 環境経営システムの総責任者として、役割権限を他の責任
に関わらず持つ
・システムの実績を代表者に報告
・外部からの苦情等窓口

< 環境事務局 > 環境管理責任者の補佐
・文書類の作成、管理
・一般教育の実施

< 会議 > ・毎週金曜日に問題点等を確認し、意見を出し合う

< 事務部門 > ・作業教育の実施
・環境経営計画の推進とシステムの実施状況の確認

< 現場部門 > ・作業教育の実施
・環境経営計画の推進とシステムの実施状況の確認

3. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社 斎藤工務店は、総合建設業を通じて環境にやさしい活動を行い、環境負荷を低減すると共に地域社会との共存を図り、自社及び地域社会の発展に貢献します。

【環境経営方針】

1. 当社の事業活動により発生する環境負荷を低減し、目標を定め、定期的に見直し、継続的・向上的な環境改善に取り組みます。
 - ① 運搬車両・重機等のエコドライブを実践し、省エネと排気ガスの抑制に取り組み、事務所での省エネ対策と合わせて二酸化炭素排出量を削減
 - ② 建設産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 事務用品のグリーン購入の推進
 - ⑤ コピー用紙使用量の削減
 - ⑥ 環境に配慮した建築工法の推進
2. 当社の事業活動に関わる環境関連法規制等を遵守する。
3. 環境経営レポートを公表し、地域社会とのコミュニケーションを図る。
4. この環境経営方針は、教育や日常活動を通じて全社員に周知する。

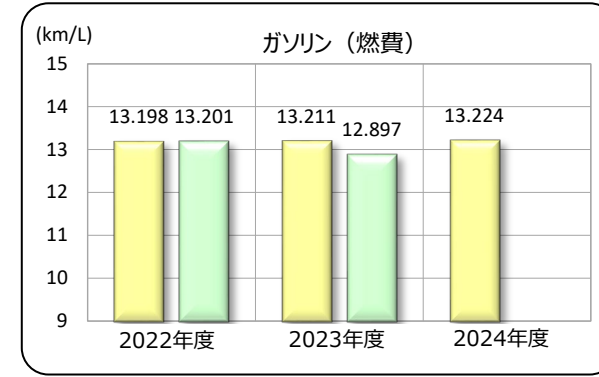
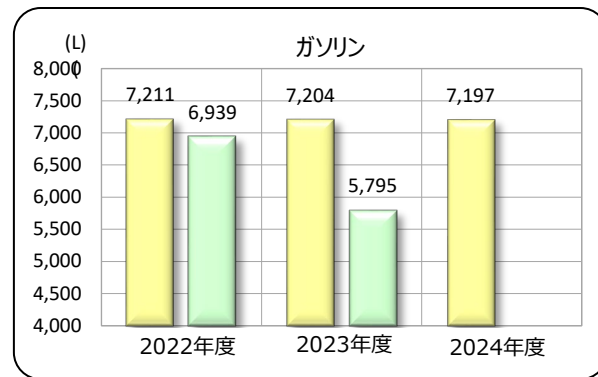
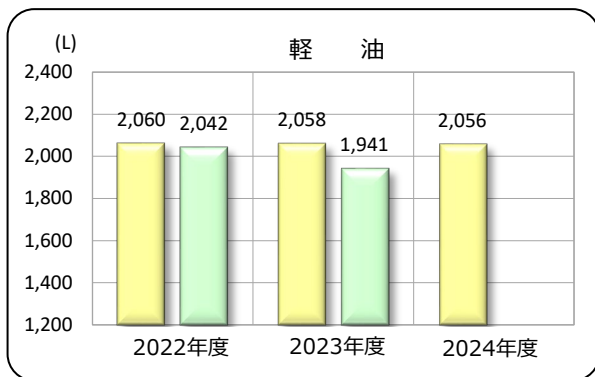
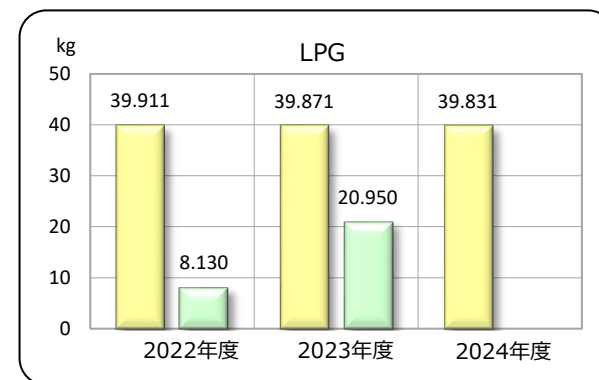
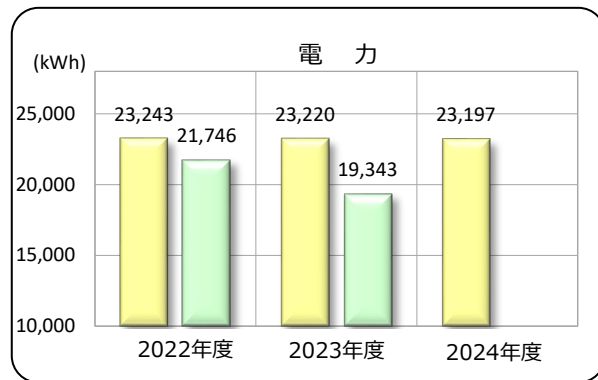
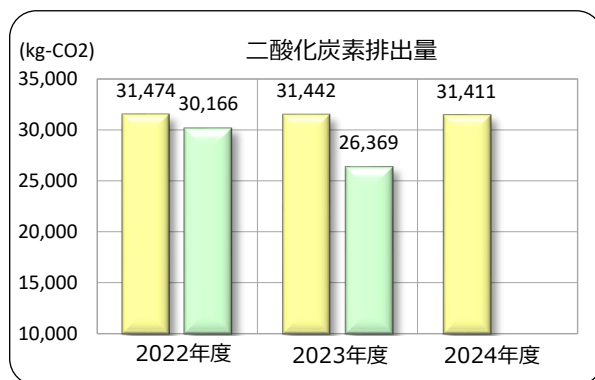
改定4：令和 4年 2月 1日

制定：平成19年 7月20日

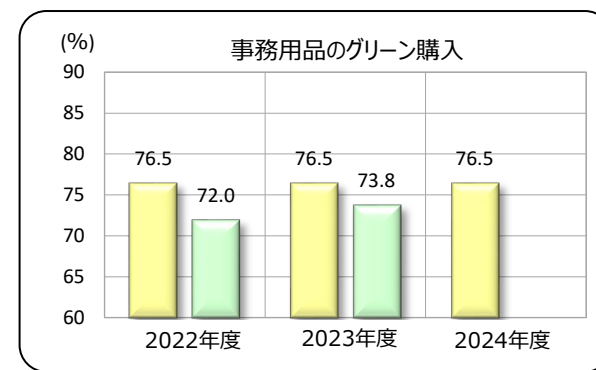
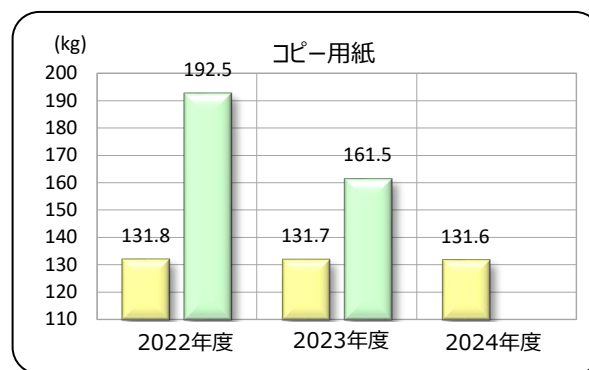
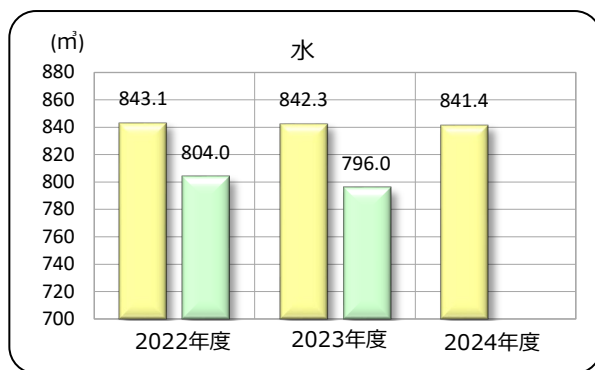
株式会社 斎藤工務店
代表取締役 斎藤 兼司

4. 環境経営目標とその実績

項目	単位	2020年度 (R2年度)	2022年度(R4年度) 2022年1月1日～2022年12月31日					2023年度(R5年度) 2023年1月1日～2023年12月31日					2024年度(R6年度) 2024年1月1日～2024年12月31日				
		基準実績	目標率	目標値	実績値	実績率	評価	目標率	目標値	実績値	実績率	評価	目標率	目標値	実績値	実績率	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	31,506	99.9%	31,474	30,166	95.8%	○	99.8%	31,442	26,369	83.8%	○	99.7%	31,411			
電力	kWh	23,267	99.9%	23,243	21,746	93.5%	○	99.8%	23,220	19,343	83.3%	○	99.7%	23,197			
LPG	kg	39.951	99.9%	39.911	8.130	20.3%	○	99.8%	39.871	20.950	52.5%	○	99.7%	39.831			
軽油	L	2,063	99.9%	2,060	2,042	99.1%	○	99.8%	2,058	1,941	94.3%	○	99.7%	2,056			
ガソリン	L	7,219	99.9%	7,211	6,939	96.2%	○	99.8%	7,204	5,795	80.4%	○	99.7%	7,197			
ガソリン(燃費)	km/L	13.185	100.1%	13.198	13.201	100.0%	○	100.2%	13.211	12.897	97.6%	×	100.3%	13.224			



項目	単位	2020年度 (R2年度)	2022年度(R4年度) 2022年1月1日～2022年12月31日					2023年度(R5年度) 2023年1月1日～2023年12月31日					2024年度(R6年度) 2024年1月1日～2024年12月31日				
		基準実績	目標率	目標値	実績値	実績率	評価	目標率	目標値	実績値	実績率	評価	目標率	目標値	実績値	実績率	評価
水	m ³	844.0	99.9%	843.1	804.0	95.3%	○	99.8%	842.3	796.0	94.5%	○	99.7%	841.4			
コピー用紙	kg	132.0	99.9%	131.8	192.5	146.0%	×	99.8%	131.7	161.5	122.6%	×	99.7%	131.6			
事務用品のグリーン購入(購入比率)	%	76.5	100.0%	76.5	72.0	94.1%	×	100.0%	76.5	73.8	96.4%	×	100.0%	76.5			
産業廃棄物リサイクル率	%	95.08	—	—	69.22	—	—	—	—	94.73	—	—	—	—			
再生材を活用したエコ建築工法の提案	件	1	—	2	1	50.0%	×	—	2	1	50.0%	×	—	2			



【目標】

- ・基準年度は令和2年度の実績を基本とし、3年間を一サイクルとする。
数値の変化が激しい場合は、基準年度の見直しを検討し、必要ならば変更する。
- ・毎年0.1%削減させることを目標とする。
(ガソリンの燃費は0.1%増加・エコ建築工法は2件/年を目標とする)
- ・産業廃棄物のリサイクル率は目標数値の設定が困難な為、分別に努め目標数値の設定は行わない。
- ・灯油は、現場の暖房用として使用しており、職場環境の面から目標は定めず省エネに努めることとする。
- ・事務用品のグリーン購入は、過去4年間の平均76.5%を3年間固定の目標値とする。

※ 購入電力の排出係数は 0.379kg-CO₂/kWh(令和2年度 中部電力ミライズ調整後の実績値)とする。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価	達成	ほぼ達成	未達成
	○	△	×

二酸化炭素排出量の削減	11 12 13 活動項目 ① 省エネルギー活動の実施 活動評価 今年度も忙しく受注件数も多かったが、目標を達成出来た。 環境効率性も前年度を上回ることが出来た。 * 環境効率指標 = CO2排出量 ÷ 売上高(百万円) <table><tr><td>削減目標(R2)</td><td>31,474</td><td>÷</td><td>463</td><td>=</td><td>67.9</td></tr><tr><td>今期実績(R5)</td><td>26,369</td><td>÷</td><td>609</td><td>=</td><td>43.2</td></tr></table> 次年度の取り組み 全ての項目で目標が達成出来るように さらなる意識向上に努める。 環境効率性の向上。 <table><tr><td>環境効率指標</td><td>評価</td></tr><tr><td></td><td>○</td></tr></table>	削減目標(R2)	31,474	÷	463	=	67.9	今期実績(R5)	26,369	÷	609	=	43.2	環境効率指標	評価		○	(kg-CO₂) 二酸化炭素排出量 (累計) <table><tr><td>1月</td><td>3月</td><td>5月</td><td>7月</td><td>9月</td><td>11月</td></tr></table>	1月	3月	5月	7月	9月	11月
削減目標(R2)	31,474	÷	463	=	67.9																			
今期実績(R5)	26,369	÷	609	=	43.2																			
環境効率指標	評価																							
	○																							
1月	3月	5月	7月	9月	11月																			
電力使用量の削減	11 12 13 活動項目 ① 事務所内の節電 ② 空調機器の適温使用 (夏季は、26℃～28℃) (冬季は、21℃～23℃) 活動評価 目標を大幅に下回ることが出来たが、暑さ・寒さが厳しい時期はオーバー傾向にあるので注意が必要。 次年度の取り組み エアコン使用時間・照明点灯時間の短縮。 OA機器の待機電力削減。 PCの中断時間がおよそ90 分以内の場合 席を離れるときにスリープにする。 <table><tr><td>実績率</td><td>評価</td></tr><tr><td>86.4%</td><td>○</td></tr></table>	実績率	評価	86.4%	○	(kWh) 消費電力量 (累計) <table><tr><td>1月</td><td>3月</td><td>5月</td><td>7月</td><td>9月</td><td>11月</td></tr></table>	1月	3月	5月	7月	9月	11月												
実績率	評価																							
86.4%	○																							
1月	3月	5月	7月	9月	11月																			
LPG使用量の削減	11 12 13 活動項目 ① 給湯器の使用方法改善 活動評価 社員へは引き続きセルフサービスを継続中であり、 ガスを使用する機会が大幅に減った。 マイボトルも浸透してきた。 次年度の取り組み 給湯器のスイッチは、使う直前に入れるよう徹底する。 マイボトルを持参する。 <table><tr><td>実績率</td><td>評価</td></tr><tr><td>54.7%</td><td>○</td></tr></table>	実績率	評価	54.7%	○	(kg) LPG使用量 (累計) <table><tr><td>1月</td><td>3月</td><td>5月</td><td>7月</td><td>9月</td><td>11月</td></tr></table>	1月	3月	5月	7月	9月	11月												
実績率	評価																							
54.7%	○																							
1月	3月	5月	7月	9月	11月																			
軽油使用量の削減	11 12 13 活動項目 ① エコドライブで燃費向上 ② 過積載が行われないよう徹底する 活動評価 月によってダンプの使用頻度の違いが際立った。 最終的には目標内に収めることが出来た。 次年度の取り組み 相乗りや運搬経路の事前打ち合わせの継続。 エコドライブや節約意識の向上。 <table><tr><td>実績率</td><td>評価</td></tr><tr><td>94.7%</td><td>○</td></tr></table>	実績率	評価	94.7%	○	(L) 軽油使用量 (累計) <table><tr><td>1月</td><td>3月</td><td>5月</td><td>7月</td><td>9月</td><td>11月</td></tr></table>	1月	3月	5月	7月	9月	11月												
実績率	評価																							
94.7%	○																							
1月	3月	5月	7月	9月	11月																			

評価	達成	ほぼ達成	未達成
	○	△	×

ガソリン使用量の削減	11 燃費の向上を図る 12 燃費の向上を図る 13 燃費の向上を図る 活動項目 ① 効率の良いルート選択 ② 同じ現場に行く車の台数を減らす 活動評価 目標より1,400L減で目標を達成出来たにもかかわらずコスト面では2.2万円オーバー。 前年度以上のガソリン価格の高騰が続いていた。 次年度の取り組み エコドライブの意識を高める。 相乗り意識を高める。 実績率 81.2% 評価 ○	(L) ガソリン使用量（累計） 目標 実績 <table><thead><tr><th>月</th><th>目標 (L)</th><th>実績 (L)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1月</td><td>500</td><td>400</td></tr><tr><td>3月</td><td>1500</td><td>1200</td></tr><tr><td>5月</td><td>2500</td><td>2000</td></tr><tr><td>7月</td><td>3500</td><td>2800</td></tr><tr><td>9月</td><td>4500</td><td>3800</td></tr><tr><td>11月</td><td>5500</td><td>4800</td></tr></tbody></table>	月	目標 (L)	実績 (L)	1月	500	400	3月	1500	1200	5月	2500	2000	7月	3500	2800	9月	4500	3800	11月	5500	4800
	月	目標 (L)	実績 (L)																				
1月	500	400																					
3月	1500	1200																					
5月	2500	2000																					
7月	3500	2800																					
9月	4500	3800																					
11月	5500	4800																					
ガソリン燃費の向上	11 燃費の向上を図る 12 燃費の向上を図る 13 燃費の向上を図る 活動項目 ① エコドライブで燃費向上 ② 効率の良いルート選択 活動評価 燃費が13km/Lに届かなかったのは残念。 燃費の悪い車の使用頻度が高かった。 次年度の取り組み 運搬経路の見直し。 エコドライブ意識の向上。 車入れ替えの際には燃費を重視する。 実績率 97.6% 評価 ×	ガソリン燃費（km/L） 燃費 km/L 燃費目標値 <table><thead><tr><th>年度</th><th>燃費 km/L</th><th>燃費目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年</td><td>12,201</td><td>13.2</td></tr><tr><td>令和5年</td><td>12,897</td><td>13.2</td></tr><tr><td>令和6年</td><td>-</td><td>13.2</td></tr></tbody></table>	年度	燃費 km/L	燃費目標値	令和4年	12,201	13.2	令和5年	12,897	13.2	令和6年	-	13.2									
年度	燃費 km/L	燃費目標値																					
令和4年	12,201	13.2																					
令和5年	12,897	13.2																					
令和6年	-	13.2																					
水使用量の削減	6 水の使用量を削減する 12 燃費の向上を図る 13 燃費の向上を図る 活動項目 ① 水を出しっぱなしにしない ② 水道使用后、蛇口をしっかり閉める（漏水がないか確認する） 活動評価 目標値から年間46.3m³、約3,000円の削減となり目標を達成することが出来た。 無駄遣いもしていなかった。 次年度の取り組み 漏水確認。 節水意識を高めて、無駄遣いしないよう心掛ける。 吐水量を少なくして使う。 こまめに止めて出来るだけ短くさせる。 実績率 93.5% 評価 ○	(m³) 水使用量（累計） 目標 実績 <table><thead><tr><th>月</th><th>目標 (m³)</th><th>実績 (m³)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1月</td><td>50</td><td>40</td></tr><tr><td>3月</td><td>150</td><td>140</td></tr><tr><td>5月</td><td>250</td><td>240</td></tr><tr><td>7月</td><td>350</td><td>340</td></tr><tr><td>9月</td><td>450</td><td>440</td></tr><tr><td>11月</td><td>550</td><td>540</td></tr></tbody></table>	月	目標 (m ³)	実績 (m ³)	1月	50	40	3月	150	140	5月	250	240	7月	350	340	9月	450	440	11月	550	540
	月	目標 (m ³)	実績 (m ³)																				
1月	50	40																					
3月	150	140																					
5月	250	240																					
7月	350	340																					
9月	450	440																					
11月	550	540																					
事務用品のグリーン購入の推進	12 燃費の向上を図る 13 燃費の向上を図る 15 環境に配慮した製品の購入 活動項目 ① 環境ラベル認定等製品を優先的に購入、使用 ② 再生可能な製品を積極的に購入、使用 活動評価 目標は達成できなかったが、グリーン購入に関しては徹底されており問題はなかった。 次年度の取り組み 次年度も引き続き金額との兼ね合いを考慮し、可能な限りグリーン製品を購入するよう心掛ける。 実績率 96.4% 評価 ×	事務用品のグリーン購入比率 グリーン購入率 目標率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>グリーン購入率</th><th>目標率</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年</td><td>72.0%</td><td>76.5%</td></tr><tr><td>令和5年</td><td>73.8%</td><td>76.5%</td></tr><tr><td>令和6年</td><td>-</td><td>76.5%</td></tr></tbody></table>	年度	グリーン購入率	目標率	令和4年	72.0%	76.5%	令和5年	73.8%	76.5%	令和6年	-	76.5%									
年度	グリーン購入率	目標率																					
令和4年	72.0%	76.5%																					
令和5年	73.8%	76.5%																					
令和6年	-	76.5%																					

評価	達成	ほぼ達成	未達成
	○	△	×

コピー用紙使用量の削減

12

13

15

活動項目

① 印刷前の原稿チェック

② ミスプリントをなくす

③ コピー用紙は、裏面の再使用を徹底する

活動評価

無駄遣いはしていないが、ここ数年目標を達成出来ていない。提出書類も可能な場合は両面コピーや縮小コピーを利用する等、枚数を減らす努力をしていく。

次年度の取り組み

印刷時は再確認を怠らず、ミスプリントを減らす。

ペーパーレス化を心掛ける。

ASPを利用する現場を増やす。

削減率

119.9%

評価

×

産業廃棄物のリサイクルの推進

11

12

13

活動項目

① 分別に努め、運搬時は過積載に注意する

② 産業廃棄物が適正に処理されているか
マニフェスト伝票で確認する

活動評価

適切な運搬・処分は徹底されており問題はなかった。過積載等の報告や通報もなかった。

次年度の取り組み

過積載に注意し、次年度も適正な処理をする。

運搬時の速度に注意する。

リサイクル率

94.7%

評価

○

環境に配慮した建築工法の推進

9

12

13

活動項目

① 環境にやさしい施工や工法を採用する

② リサイクルしやすいよう、建築物・工作物の構造を指向する

③ 間伐材を使った新製品の提案

活動評価

工事全般で忙しく稼働していた為、積極的な営業活動が出来なかったが、環境に配慮した取り組みなので引き続き積極的に取り組んでいく。

次年度の取り組み

新築工事にもecoスカイデッキを+した提案をしていく。施工箇所によっては簡単な施工方法も検討していく。コストの削減。

達成率

50.0%

評価

×

(kg) コピー用紙使用量（累計） 目...

月	目標 (kg)	実績 (kg)
1月	10	10
2月	20	20
3月	30	30
4月	40	40
5月	50	50
6月	60	60
7月	70	70
8月	80	80
9月	90	90
10月	100	100
11月	110	110
12月	120	120
1月	130	130
2月	140	140
3月	150	150
4月	160	160

令和4年度 防災・安全（経済対策） 会下/島石津8-8号線はか道路築造工事
工期：令和5年3月17日～令和5年11月13日

目標値：提案件数

	目標値	実績
令和4年度	2 件	1 件
令和5年度	2 件	1 件
令和6年度	2 件	件

「再生プラスチックを活用した ecoスカイデッキ」

「+1空間」の発想から

新商品

「ecoスカイデッキ」

加工が容易・軽量・耐久性の高い再生プラスチック

① 再生プラスチックの選定

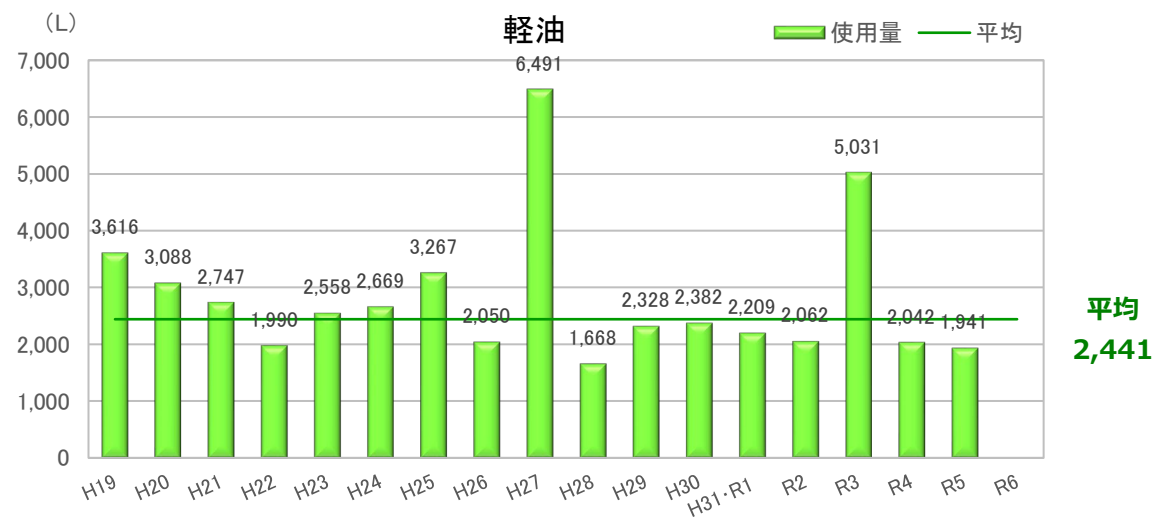
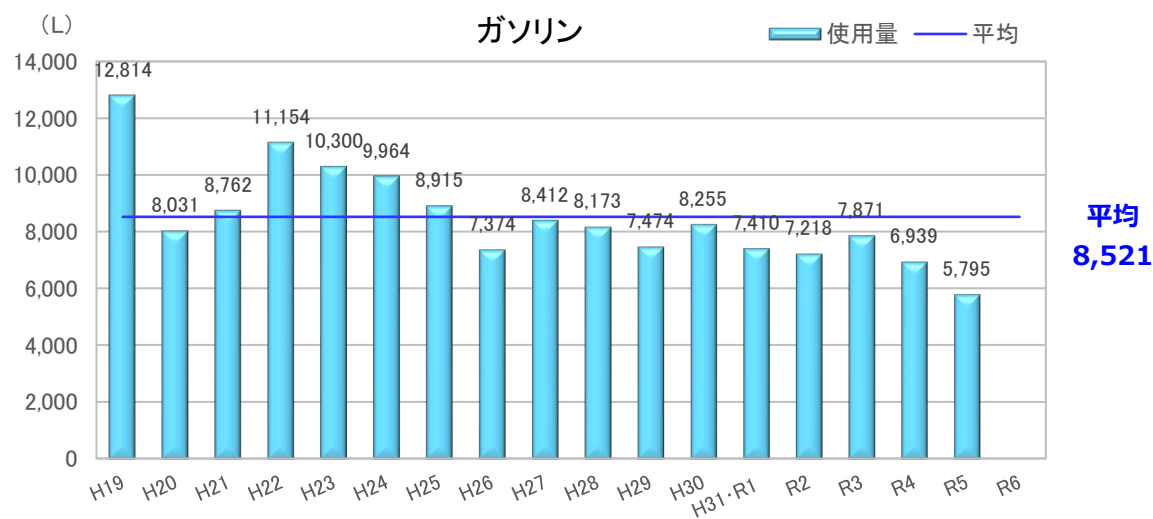
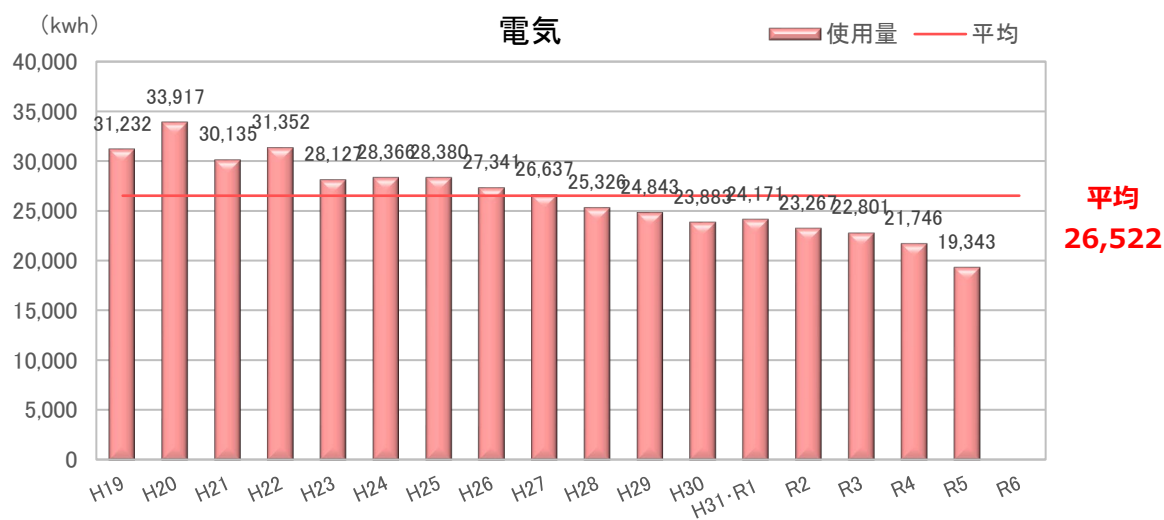
② 構造設計

③ 加工・組立

④ 施工

⑤ 完成

主たる負荷（電気、ガソリン、軽油使用量）の活動開始からの経時変化



※軽油の平均はH27年度・令和3年度の特異点(工事内容)を除いた使用量で計算しています

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

点検者： 斎 藤 兼 司

令和 6 年 7 月 2 日

①当社に該当する主な環境関連法規

該 当 す る 環 境 法 規 制	法 令 の ポ イ ン ト	対 応 策	遵 法 評 価 結 果
廃棄物処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	・事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において、適正に処理しなければならない。 ・産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。 ・産業廃棄物の発生から、最終処分終了まで、適正に処理がなされるよう必要な処置を講じるよう努める。	産業廃棄物マニフェストの管理 (A,B2,D,E票5年間保管)	○
		年間交付状況報告書の提出 (期日:6月末日)	○
		廃棄物処理経路の明確化	○
		建設廃棄物処理委託契約書 (5年間保管)	○
		収集運搬業許可期限の確認 (R4.1.11～R9.1.10)	○
建設工事に係る資材の再 資源化等に関する法律	・建築物等に係る分別解体等及び再資源化等 の義務付け。	必要書類を作成し、発注者に提出	○
騒音規制法 (静岡県生活環境の保全 等に関する条例)	・特定建設作業等の騒音規制値を遵守する。	早朝、夜間作業、日曜、祭日の作業 の自粛	○
振動規制法 (静岡県生活環境の保全 等に関する条例)	・建設機械等による振動規制を遵守する。	低騒音、低振動機械の使用遂行	○
浄化槽法	・浄化槽の毎年1回の清掃と、年3回の保守点検 をしなければならない。	年 1 回の清掃、年3回の保守点検、 法定検査(11条検査)の実施	○
グリーン購入法	・環境負荷低減に資する製品の調達を積極的に 推進する	環境対応商品がわかりやすいカタログ やインターネットを利用して購入	○
家電リサイクル法(特定家庭 用機器再商品化法)	・特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者 等への適切な引き渡し、料金の支払い	廃棄時に適切に処理する	○
自動車リサイクル法(使用済 自動車の再資源化等に関 する法律)	・使用済み自動車の引き渡し義務 ・使用済み自動車の引き取り業者への引き渡し	廃棄時に適切に処理する	○
パソコンリサイクル法	・不要になったパソコンやモニターの再資源化	廃棄時に適切に処理する	○
静岡県産業廃棄物の適正 な処理に関する条例	・産業廃棄物管理責任者の設置 ・委託先の実地確認	産業廃棄物処理場の現地確認	○
環境基本法	・環境への負荷を出来る限り低減する。	再生資源の利用	○
静岡県環境基本条例		産業廃棄物処理場の現地確認	○
焼津市環境 基本条例	・環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社 会の構築と、人と自然が共生することができる健全 で恵み豊かな郷土の環境保全・創造を目指す。	資源の循環的利用、廃棄物の減量、 電気その他のエネルギーの浪費の防止 等	○

上記関連法規制の遵守状況の評価結果、環境法規制の逸脱、違反はありませんでした。

また、協力業者においても、上記法規制を守らせる為の指導をし周知徹底させています。

②外部からの違反、訴訟等の有無

過去 3 年間にわたって、関連機関からの違反指摘及び利害関係者からの苦情・訴訟等はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直しを行った結果は、事項の通り。

見直し実施日	令和6年7月2日	見直し者	代表者
収 集 し た 情 報	①環境経営目標の達成状況 ②環境経営計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規等の遵守状況 ④外部からの環境に関する苦情や要望等 ⑤その他、環境管理責任者の意見		
評 価 内 容	①環境経営システムが、有効に機能しているか。 ②環境への取り組みは、適切に実施しているか。		
社長の評価結果及び環境経営方針、目標、計画等の変更の必要性の判断	二酸化炭素総排出量の売上高原単位は43.29%と、過去最高だった前年（R4年-53.1）を上回る結果となった。 ほとんどの項目で目標達成が出来ている中で、ここ数年コピー用紙の使用量が目標達成出来ていないことが気にかかる。 情報共有システム(ASP)を使った工事は明らかに提出書類が減少しているが、それ以外の工事は提出書類が増えているようにも感じられるので、ミスプリントをなくすのはもちろんのこと、提出枚数を減らす工夫をしていく必要がある。（両面印刷、縮小(A3→A4)印刷、文字サイズを小さくする、行間を狭くする等） 今年度も良い結果となったが、現状に満足することなく、資源の消費をできるだけ抑えながら環境経営を発展させていきたい。 1人1人のエコ活動への意識は低下することなく維持できているので、今後もこの状態を継続したまま取り組んでいただきたい。 環境経営方針、目標、計画等はポイントを押さえているのでこのまま変更せず、来期もこの内容に取り組んでいく。		
見 直 し 項 目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等	
1. 環境経営方針	無		
2. 環境経営目標	無		
3. 環境経営計画・取組項目	無		
4. 実施体制(組織)	無		
5. 環境経営レポート	無		
6. その他	無		
各部門責任者・事務局への必要な指示	毎週金曜日に実施している定例会（工務会議）で、エコアクション21の実施状況や成果を社員に把握させ、問題点がある場合は意見を出し合い、早期に有効な解決策を見つけていくこと。 責任者は、前向きな姿勢で取り組みを推進出来るようリーダーシップを発揮していただきたい。		

代表取締役 斎 藤 兼 司